



学校教育目標 「いきいき生きる わくわく学ぶ やさしくかかわる 岩谷の子ども」

第1回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）開催

5月31日（火）、今年度第1回目の学校運営協議会が開催されました。この会は、学校と保護者、地域住民との双方向による信頼関係を深め、地域・家庭及び学校がその教育力を相互に高め、共に子どもたちの豊かな成長を目指して、由利本荘市内全ての小中学校に設置されているものです。そして、学校運営協議会のある学校のことを「コミュニティ・スクール（CS）」といい、「地域と共にある学校づくり」を進めています。

当日は、授業参観を通して子どもたちの様子も見ていただきました。その後協議を行い、今年度の学校経営やCS事業について確認していただくともに、意見交換を行いました。

令和4年度の学校運営協議会委員の皆様です。

- ・伊藤 ** 様（岩谷小学校運営協議会 会長）
- ・佐藤 ** 様（岩谷小学校運営協議会 副会長）
- ・伊藤 ** 様（学校関係者評価委員）
- ・加藤 ** 様（学校関係者評価委員）
- ・菅野 ** 様（学校関係者評価委員・PTA会長）
- ・村上 ** 様（PTA副会長）
- ・高原 ** 様（PTA副会長）
- ・堀 ** 様（大内教育学習課 課長）
- ・藤原 ** 様（岩谷保育園 園長）
- ・澤木 ** 様（岩谷児童館 厚生員）
- ・成田 ** 様（スポーツ少年団大内支部長）
- ・東海林 ** 様（岩谷地区町内会長会 会長）
- ・成田 ** 様（放課後子ども教室 コーディネーター）
- ・伊藤 ** 様（大内地区主任児童委員）
- ・長谷部 * 様（学校支援活動事業 コーディネーター）

※この他に校長と教頭が委員となります。



今年度の重点目標について（あきた型学校評価）

今年の本校の重点目標は、次の2つに設定いたしました。具体的な目標と目標達成のための方策を以下に記載いたします。目標達成のため、保護者・地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

重点目標① 学ぶ意欲と主体性を高め、確かな学力の定着を図る。

具体的な目標

- 1 授業に対する学習アンケートで、肯定的な回答の割合が85%以上となる。
- 2 秋田県学習状況調査・CRTにおいて、県平均・全国平均と同等もしくは、それ以上を目指す。



目標達成のための方策	<ol style="list-style-type: none"> 1 「個に応じた指導」「対話的な学び」を重視した授業を展開し、学ぶ意欲と主体性を育む。(生徒指導の三機能を生かした授業) 2 教科担任制指導と算数を中心としたTT指導(3～6年)、モジュール型授業の実施を通して、学力の向上を図る。 3 単元評価問題、パワーアップタイム(練習問題、音読、スピーチ、国語・算数全校テスト)に取り組み、基礎学力の定着につなげる。 4 授業と連動した家庭学習の習慣を身に付ける。 5 授業研究や校内研修を充実させ、教員の授業力向上を図る。
------------	--

重点目標② 場に応じたあいさつや返事の定着を図る。

具体的な目標	保護者・地域住民への「あいさつ・返事」に関するアンケート調査で、平均3.0点以上を目指す。
--------	---

目標達成のための方策	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童会・子ども会を中心に、全校で「あいさつ運動」を展開する。 2 大内中学校と連携して、小中合同あいさつ運動を実施する。 3 学級活動、道徳の学習で「礼儀(あいさつや返事)」の大切さを指導する。 4 朝、校長が校門前で登校指導を行うとともに、あいさつを呼び掛ける。 5 学校だより等で保護者や地域住民に「あいさつや返事」の指導・協力を依頼する。
------------	--

花壇に花を植えたよ!

チューリップの咲いていたあとに、校務員の**さんと環境美化ボランティア委員の皆さんが、マリーゴールドなどのお花をきれいに植えてくれました。「夏に向かって大きくなあれ!」と水かけを頑張っています。



避難訓練を行いました

6月2日(木)由利本荘消防署大内分署の方々をお迎えして、地震を想定した避難訓練を行いました。訓練の時刻は伝えていなかったのですが、2校時の授業中、秋田県沖を震源とするマグニチュード7.5(震度5強相当)の激しい揺れが来たという想定です。(ちなみに昭和58年5月26日に発生した日本海中部地震はM7.7でした。)

放送による避難指示のあと、全校児童が無言でグラウンドに避難することができました。タイムは昨年度と同訓練より30秒ほど速かったそうです。

「脳が大人になるのは何才？」

- ① 12才 ② 15才
③ 18才 ④ 20才

消防署の方からクイズも出されました。高学年になると、もう大人の脳に近づき、自分で判断できるようになっているので、登下校時に災害が発生した場合には、しっかり小さい子の面倒も見てくれると助かるとのことです。

訓練の感想を、****さん(6年)****さん(3年)****さん(1年)の3人が自主的に発表してくれました。話をちゃんと聞いて真剣に取り組み、落ち着いて行動できたという反省でした。

災害はいつどこで起こるか分かりません。どんなときであっても慌てず冷静に対応し、「自分の命は自分で守る」ことを実行してほしいと思います。

